

春の全国火災予防週間
小学生が「火の用心」を呼びかける



▲小学生が消防車に分乗し、火災予防を呼びかけました

2月25日、春の全国火災予防週間（3月1日～3月7日）を前に町内で火災予防防火パレードが行われました。

パレードには、函南小学校6年生6人、函南町消防団、田方北消防署が参加しました。

参加した小学生は消防車に分乗して「火の用心 ことばを形に 習慣に」などの標語で防火を呼びかけ、町内を巡回しました。

また、町内のスーパーで女性消防団員による街頭広報も行われました。

2月23日は「富士山の日」
富士山のモザイクアートを作成



▲みのり幼稚園の園児が集まりイベントを盛り上げました

2月23日は、静岡県が定める「富士山の日」です。

2月23日、道の駅「伊豆ゲートウェイ函南」で、函南町の特産「丹那牛乳」のパック1223枚（いい富士山）に町内の幼稚園・保育園の園児が色を塗って9m×3.6mの巨大な富士山のモザイクアートを制作しました。

同日はテレビの生放送や近隣市町のご当地キャラ、みのり幼稚園の園児が集まり、イベントを盛り上げました。

函南町民生委員児童委員協議会
民生委員制度創設100周年記念大会を開催

2月25日、函南町文化センターで民生委員制度創設100周年記念大会が開催されました。

同大会は式典とイベントの2部構成で行われ、関係者ら約200人が参加し、民生委員・児童委員の活動の推進などを再確認しました。

式典では民生委員児童委員信条の朗読や民生委員の歌、物故者への黙とうなど。イベントでは講演や仁田マーガレット保育園の園児によるソーラン節、富士通沼津吹奏楽団の演奏が行われ、会場を盛り上げました。



▲富士通沼津吹奏楽団の演奏などで会場を盛り上げました

2月24日、畑毛せせらぎ公園で「第14回かなみ桜まつり」が開催されました。

同まつりには、柿沢川の堤防沿い約3kmに植えられている410本の桜並木やイベントを楽しもうとたくさんの来場者でにぎわいました。

当日の桜は、2月中旬の寒波の影響で開花が遅れ、ようやくつぼみが膨らんできている状況でしたが、フラダンスやよさこい、飛龍高校和太鼓部の演奏、豚汁・つきたて餅の無料配布、各種飲食店が出店し、祭りに花を添えました。

第14回かなみ桜まつり
各種イベントでにぎわう



▲飛龍高校和太鼓部の演奏などで会場を盛り上げました

田方農高生
全国大会最優秀を報告



▲好結果を報告する川瀬さん、佐々木さん、高橋さん（左から）

このほど、日本学校農業クラブ全国大会で最優秀賞を受賞した高橋雪奈さん（田方農高2年）と全国押し花コンテストで最優秀の文部科学大臣賞に輝いた佐々木麻菜さん（同1年）、川瀬杏奈さん（同1年）が、好結果を収めたことを森町長に報告しました。

高橋さんは、生活関連の知識が幅広く問われる農業鑑定競技の生活区分で出場82人の頂点に立ちました。

佐々木さんと川瀬さんは、バラやカーネーションなど15種類を押し花にして、90cm×45cmの「幸せを運ぶハト」を表現し、161点の中で最優秀作品に選ばれました。

第48回まちづくりセミナー
こどもの居場所づくりを紹介



▲子どもや若者への地域の居場所づくりの紹介をしました

2月24日、函南町文化センターで「第48回まちづくりセミナー」が行われ、各区役員、民生委員、主任児童委員、青少年健全育成委員、スクールアドバイザーなど約120人が参加しました。

講師には、NPO法人ゆめ・まち・ネット代表の渡部達也さん・美樹さんを招き「こどもの居場所づくり事業について」～子ども・若者を気遣う人に～をテーマに講演が行われました。

講演では、5人1組にわかれたグループワークや講師が実際に行っている子どもや若者への地域の居場所づくりの紹介をしました。